



巨木の森で一斉清掃作業

環境省の「自然共生サイト（OECM）」に認定されている「東洋紡綾の森」で5月16日、2回目となる市民参加型イベントが開催されました。森の保全を目的に、ごみ拾いや階段の落ち葉かきが行われ、参加者約30人の手によって森林が清々しくなりました。

清掃後には、（公財）日本自然保護協会の朱宮丈晴さんの案内で森を散策。照葉樹林の生態や動植物に関する専門的な話を聞きました。

散策の目玉となったのは、森に鎮座するクスノキの巨木です。参加者が幹周りを計測したところ、4.8メートルもの太さであることが分かり、驚きの声が上がりました。

参加者は見晴らしの良い場所で昼食をとったり、寝転がって森林浴をしたり、自然林の中にひっそりと咲く薄ピンク色のヒユウガアジサイを観察したりと、思い思いに森の魅力を堪能していました。

綾地域づくりワーキングは、こうした活動を通じて地域住民が自然と触れ合い、保全への理解を深める機会を創出していきます。より気軽に学び合



幹回り4.8メートルの巨木



朱宮さんのガイドで森の中を散策した参加者

える「自然共生サイト勉強会」も8月下旬の開催を計画中です。参加者が各企業と直接話せるワークショップなどが企画されています。詳細が決まり次第お知らせしたいと思います。どうぞお楽しみに！

